

電子情報通信学専攻	研究分野	人工知能	Lab. ID EI15
研究室Webサイト	http://blitz.ec.t.kanazawa-u.ac.jp		
研究課題の概要			
人工知能研究室では、計算機に知的な処理を行わせることを目的とした研究を行っています。研究課題の範囲は非常に広く、経営・経済に関連するものから、福祉や医療に関連するものまで幅広く行っています。その多くは、センサやネットワークなど様々な手段によって得られたデータを解析し、そこから法則やルールを発見し、システムに応用するデータマイニングや機械学習の技術を用いています。			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
博士課程以上の学生は、教員との相談は必要ですが、基本的に研究テーマを自由に設定することができます。場合によっては、2つ以上のテーマに携わることも可能です。また、研究室所属の学生は少なくとも週に1回全員が集まるゼミがあり、そこでは進捗状況の報告や、研究に関する調査結果の報告が行われます。さらに、研究分野が近い学生で構成される研究グループ毎に、勉強会や進捗報告が行われることもあります。また、M1の学生は、B4の学生の指導を担当し、例えばプログラミング言語のゼミなどを主催することになっています。なお、博士前期課程のうちにアジアで行われる国際会議に1回出席できることになっています。			
研究室生活の紹介等			
基本的に一人一つの机が与えられ、また一人1台以上のPCも与えられます。 また、ウィークデーは研究室に顔を出し、出席簿にチェックすることになっています。 その他、教員の知らないうちに、有志で飲み会が不定期に開催されているようです。			
教員からのメッセージ			
大学院生は、各自が異なるテーマに携わるため、先輩とペアを組まずに行うことが多くなります。そのため、研究の内容は自身で進めなくてはいいませんが、研究の取り組み方について先輩から教えてもらうことになります。つまり、Dの学生はMの、M2はM1の、M1はB4の指針となれるように努めてください。			
研究室連絡先メールアドレス	www-admin*at*blitz.ec.t.kanazawa-u.ac.jp		